

令和7年度事業報告

I はじめに

令和5年10月から消費税の適格請求書保存方式『インボイス制度』が始まり、令和6年11月からフリーランス法が施行されるのを受けて、従来の発注者とセンター間の請負契約方式から、発注者とセンター及び会員の3者間による包括契約方式へ令和7年4月から移行しました。

令和7年度の契約金額の総額は、公共からの受注が増加したこともあり、225,380千円で対前年度9,469千円、4.4%の増加となりました。また、受注件数は、1,395件で対前年度4件の減少となりました。

労働者派遣事業において契約金額は、17,940千円となり、対前年度4,544千円、33.9%の増加となりました。

請負、労働者派遣事業の契約金額の合計は、243,320千円で、対前年度5.8%の増加という状況となりました。

一方、会員拡大については、当センターの最重点課題と位置づけて、機関紙「シルバーこうた」の年2回の発行、会員増強月間の取り組みや会員紹介カードを活用した入会促進を進めてまいりました。会員の高齢化が進んでいることもあり、加齢、本人の病気、家族の介護などの理由から40名の退会者がありましたが、前年度末から4名の増加となり、369名という結果となりました。

安全就業面では、残念ながら傷害事故2件、損害賠償事故1件の計3件が発生しており、前年度より減少はしましたが、まだ課題を残す結果となりました。シルバーの就業においては、何よりも安全が優先されるため、引き続き安全就業の徹底・推進に努めていきたいと考えています。

令和8年度は、就業機会の拡大と会員拡大を最優先の目標に掲げ、会員の健康と「自主・自立、共働・共助」の精神の基に、会員の生きがいを推進し、町民、地域の皆さまに愛され、信頼されるセンターを目指して、各事業に取り組んでまいります。

II 事業実施報告

(1) 会員数増強の取り組み

令和7年度の会員目標数は、第2次事業推進5か年計画の目標である402名を目標に定め、会員拡大の取り組みを次のとおり実施しましたが、65歳までの雇用の義務化や70歳までの雇用継続の努力義務化などにより、60歳代の入会者は減少して

おりますが、一定の新規入会者もあり、年度末会員は、369名という結果となりました。

- ア 入会説明会の毎月定期開催及び随時開催
- イ 「会員増強・拡大月間」を設定し、会員一人1人以上の加入の呼びかけを依頼
- ウ 会員紹介カードの活用による加入促進の実施
- エ 会員募集を掲載した「シルバーこうた」の年2回発行
- オ 町発行の「広報こうた」に入会説明会記事の掲載
- カ シルバーショップ「お花畑」の開設による入会機会の創出と退会抑制

(入退会会員数)

項目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
入会会員数	36人	41人	87.8%
退会会員数	40人	39人	102.6%
増減数	4人	2人	200.0%
年度末会員数	369人	365人	101.1%

(2) 相談事業の実施

高齢者の雇用、就業に伴う相談窓口を常設し、入会希望者や地域住民、発注者等の方からの相談に対応しました。

(3) 就業機会の確保と組織的提供(請負・委任)の推進

- ア 就業開拓推進員を配置しましたが、効果的な企業訪問等ができない中でも、既存企業内での水平展開で新規受注を獲得するなど就業機会の確保に努めました。
- イ 就業機会を確保し、就業を希望する会員に就業情報を提供しました。
- ウ 就業機会拡大のため、幸田町を始め関係行政機関、公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会(以下「県シ連」という。)等との連携を図り、適正な事業運営の推進・改善を図りました。
- エ 県シ連主催の「シルバーフェスタ」が岡崎市、蒲郡市で開催され、当センターも参加し、入会相談や就業機会の確保の取り組みを進めました。

(契約金額等の実績)

項目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
就業延人数	43,218人日	41,661人日	103.7%
契約金額	225,380千円	215,911千円	104.4%
配分金額等	193,020千円	178,830千円	107.9%

(4) 指定管理事業の実施

幸田町高齢者生きがいセンター運営の受託となり、各種団体の定期的な利用もあり、高齢者の生きがいづくりの場として、多くの方に利用していただきました。

(指定管理業務の収支状況)

施設名	幸田町高齢者 生きがいセンター
収入(町委託料)	5,302千円
支出(経常経費)	4,692千円
差引	610千円
令和7年度利用者数	10,035人
前年度利用者数	9,078人
前年度比	110.5%

(5) 有料職業紹介事業の実施

会員からの就職希望等の相談もなく、実績はありませんでした。

(6) 労働者派遣事業の推進

シルバー事業における高齢者の多様な働き方のひとつとして、県シ連を派遣元として、幸田町事務所として労働者派遣事業を実施しましたが、受注件数の増加により6.7%の増加となり、就業延人員、契約金額に関しても同様に増加となりました。引き続き、全シ協の補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、派遣事業の推進を図ります。

(契約金額等の実績)

項目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
登録会員数	64人	69人	92.8%
受注件数	16件	15件	106.7%
就業延人員	2,665人日	2,218人日	120.2%
契約金額	17,940千円	13,396千円	133.9%
受託収益	1,961千円	1,331千円	147.3%

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

介護予防・日常生活支援総合事業については、事業開始から8年目となりました。

令和4年4月から地域包括支援センターが北部、中部、南部地区と3分割されたこともあり、高齢者へのきめ細かな相談体制が整う中、国の在宅介護の介護報酬費の削減がされる中ではありましたが、利用者、契約金額等も前年度から微増という状況となりました。また、令和6年6月末で町の指定が終了したため、指定更新申請をし、令和6年7月から6年間の再指定を受けました。

(利用実績)

項目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
延べ利用者数	223人	179人	124.6%
就業延べ人数	1,190人	905人	131.5%
契約金額	2,646千円	1,978千円	133.8%

(8) 就業機会につなげる講習会等実施事業の推進

会員の技能習得・向上と会員の事故防止・安全意識向上及び会員拡大につなぐための講習会を開催しました。

(講習会等開催状況)

講習会等名	開催日	場 所	参加者数
熱中症・蜂対策講習会	令和7年 6月 4日 令和7年 6月14日	高齢者生きがいセンター	会員41名
剪定講習会	令和7年10月29日	高齢者生きがいセンター	一般6名 会員6名
交通安全講習会	令和8年 2月19日	高齢者生きがいセンター	会員27名

(9) 調査研究事業の実施

センター事業発展のために企業、行政等との調整を行い、新規受注及び会員の就業機会につなげました。

- ア 町内企業等からの新規受注相談等に対応し、受注可能な仕事をセンター会員へ就業機会を提供しました。
- イ 令和8年度の配分金基準単価及び会員業務委託料の見直しのため、西三河ブロック管内シルバー人材センターの配分金単価等を調査しました。

(10) 安全・適正就業の推進

会員の就業には、何よりも安全が優先されるため、会員の安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図るために各種事業を実施しました。

- ア 令和7年度安全・適正就業実施計画の策定
- イ 安全・適正就業委員会の開催(3回)及び現地パトロール指導(4回)
- ウ 安全就業のための講習会の実施(草刈安全講習会、剪定安全講習会)
- エ 会員就業先80箇所への熱中症パトロール実施
- オ 県シ連主催「安全・適正就業研修会」に参加
- カ 各職班での就業前ミーティングで安全就業・事故防止を指導

(11) 当センターの活動等において周知を図る事業の推進

当センター事業の発展には、会員の増強と就業機会の拡大が不可欠であるため、シルバー人材センターの理念、活動を町民及び関係者に広く周知し、会員確保を図るべく普及啓発に努めました。

ア 機関紙「シルバーこうた」を年2回発行し、シルバーの情報発信、普及啓発に努めました。

イ 町の広報誌「広報こうた」に会員募集記事を掲載しました。

ウ インターネットのホームページを適時更新し、情報発信に努めました。

エ 「こうた産業まつり」に出店参加し、会員募集グッズ配布など普及啓発を実施しました。

(12) ボランティア活動を通して地域社会に貢献

地域社会への貢献と当センターの普及啓発を目的に会員の協力を得て、ボランティア活動を実施しました。

(ボランティア活動実施状況)

活動名称	開催日・場所	参加人数等
「秋の全国交通安全運動」の街頭啓発	令和7年 9月26日 相見地区交差点周辺	会員45名 職員 6名
町内小中学校へ雑巾寄附	令和7年11月13日 南部中学校 荻谷・豊坂・深溝小学校	作成会員47名 作成雑巾311枚
清掃ボランティア活動	令和7年12月10日 幸田中央公園周辺	会員27名 職員 5名

(13) 外部監査の受け入れ

高齢者雇用安定法に基づき、当センターの公益法人としての適正な事業運営及び町補助金の適正執行の評価を受けるために、幸田町事務監査を次のとおり受け入れました。

監査等の名称	開催年月日	場所等
幸田町事務監査(福祉課)	令和8年 4月23日	高齢者生きがいセンター

(14) 総会・理事会等の開催

当センターの事業推進のため、次のとおり会議等を開催しました。

(会議等開催状況)

会議名	開催日	開催回数
決算監査会	令和7年5月13日	1回
定時総会	令和7年6月20日	1回
理事会	原則毎月開催	13回
総務広報委員会	令和7年6月24日他	4回
就業開拓・会員増強委員会	令和7年6月25日他	2回
安全・適正就業委員会	令和7年7月 1日他	3回

(15) 高齢者生きがいセンター(事務所)移転関係

幸田町高齢者生きがいセンターは、大草字広野地区で令和7年度に移転のため改修工事が開始され本館、交流館及び作業棟の3施設での供用開始のため準備を進めてきました。

令和8年4月に本館、作業棟の運用は開始しましたが、交流館については7月の運用開始を目指し準備を進めております。

また、交流館の改修及び施設全体の外構工事も予定されており、引き続き関係部局と調整を行ってまいります。

今後も、高齢者の就業活動、創造活動を通じた地域交流や、趣味を通じた高齢者の生きがい、健康保持及び社会参加の手助けとなる運営に努めてまいります。